



令和6年9月6日
中村河川国道事務所
高知県河川課
四万十市

あいのさわがわ

相ノ沢川総合内水対策事業が浸水被害を防止 ～令和6年台風10号における治水効果について～

- 平成26年6月の梅雨前線豪雨により、^{ぐどう くすしま}具同・楠島地区（相ノ沢流域）では、相ノ沢川および楠島川沿川で内水により浸水面積約105ha、床上71戸、床下25戸の深刻な浸水被害が発生しました。
- これを受けて、四国地方整備局、高知県、四万十市の三者は、平成28年8月に『相ノ沢川総合内水対策計画』を策定し三者が連携しハード・ソフトの両面から総合的な内水対策を実施し、排水樋門、放水路及び排水機場については令和5年5月に完成しました。
- 令和6年8月の台風10号により、中筋川上流域では累計477mmの降雨を観測し、この降雨により、中筋川の磯ノ川地点でピーク水位6.75mを記録し、氾濫注意水位5.5mを超える出水となりました。
- 相ノ沢川総合内水対策事業を実施していなかった場合の浸水面積は約30haと推定されますが、この事業が効果を発揮した事により、浸水を防止し、かつ国道56号の道路冠水による通行止めを回避できました。

【本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。】

（問い合わせ先）

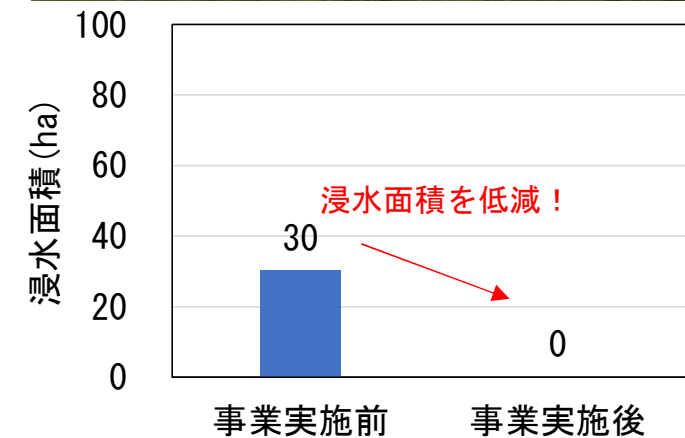
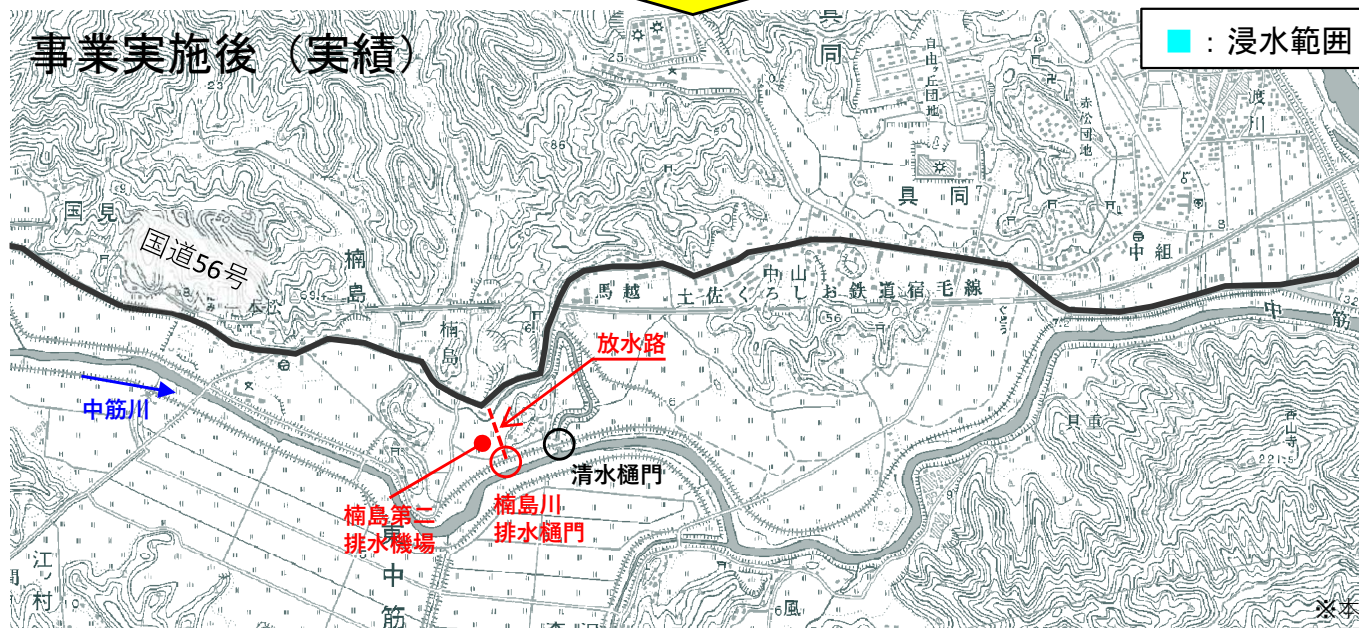
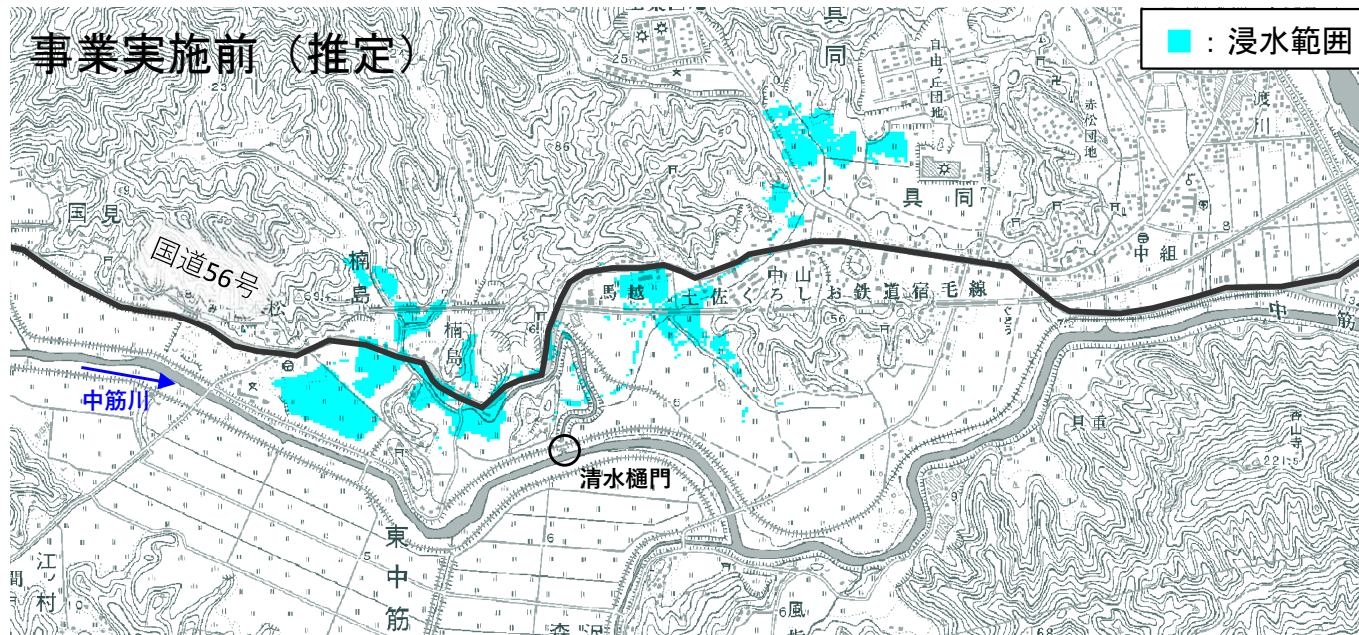
国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 電話：0880-34-7301（代表）

副所長（河川）：^{せんば}仙波 ^{ひろみつ}宏光（内線：204）

◎計画課長：^{にいや}新谷 ^{だいご}大吾（内線：261）

◎：主たる問い合わせ先

○今回の出水で、事業を実施していなかった場合の浸水面積は約30haと推定されますが、この事業が効果を発揮した事により、浸水を防止し、かつ国道56号の道路冠水による通行止めを回避できました。



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

内水対策計画の整備メニュー

ハード対策

国土交通省

- ・楠島川放水路の排水樋門の新設
- ・排水ポンプ車による内水排除
- ・横瀬川ダムの整備 など

高知県

- ・相ノ沢川と楠島川の河川改修
- ・楠島川の放水路新設 など

四万十市

- ・既存の雨水貯留施設の改修
- ・排水機場の新設 など

ソフト対策

国土交通省 + 高知県

- ・河川水位、内水センサーなどの
情報提供体制の整備

四万十市

- ・ハード対策の整備効果を維持するため
土地利用に関するルールづくり
- ・防災意識の向上と避難体制の充実のため
住民への防災情報の提供
- ・防災訓練の実施 など



国土交通省



高知県



四万十市

三者が連携して整備し令和5年5月に完成しました

排水樋門・放水路・排水機場を新設しました



【参考】相ノ沢川総合内水対策事業の概要

楠島川改修（高知県）

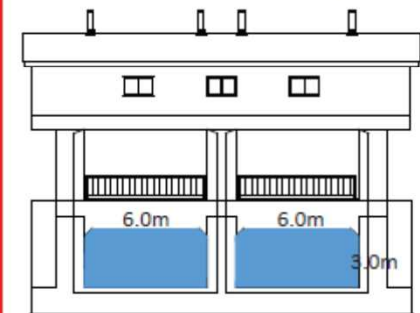
放水路
（高知県）

- ◆放水路の諸元
- ・ (55 m³/s)
 - ・ 底幅 10.5m
 - ・ L = 146.7m

楠島第二排水機場
（四万十市）

- ◆排水機場の諸元
- | | |
|---|----|
| ・ Φ800水中ポンプ
（総排水量3m ³ /s） | 2基 |
| ・ 自家発ディーゼルエンジン | 2基 |
| ・ 発電用燃料地下タンク | 1基 |
| ・ 除塵機 | 1基 |
| ・ 機械格納建屋（待機室含） | 1基 |

- ◆排水樋門の諸元
- ・ 幅 6.0m
 - ・ 高さ 3.0m
 - ・ 門数 2門
 - ・ 延長 32.2m
 - ・ ローターゲート 2門



楠島川排水樋門
（国土交通省）

中筋川→